

間もなく梅雨を迎え、うっとうしさばかりを感じてしまいがちな雨空の毎日も神様の御心の中での 恵みであり、必然の時であることに 子ども達と想いを馳せ、感謝に心満たされる明るい毎日を また元気に過ごしていきたいと思っています。

さて 先月29日には、お蔭様をもちまして 決算理事会が 無事 終了しました。2015年度の1年も 神様の御手に導かれて、保護者の皆様を始め、多くの方々のお力添えや 温かなお心に支えられながら、子ども達が皆 健やかに 安らかな日々を歩み続けることが出来ました幸いを想い、心より 感謝申し上げます。昨年度末には“保育園 落ちた！日本 死ぬ！”のSNSの一言から、世間の関心が一気に高まった待機児童問題ですが、その数の多さだけが 取り沙汰され、何より大切にされるべき乳幼児期の教育（保育）、最も守らなくてはならない子ども達の心が ないがしろにされている日本の政府の意向と 安易なその取り組み方には あきれざるばかりです。理事会の中でも、現場を無視した 行政の無知と無責任さに対する大きな憤りと共にこの国の将来への危機感について 深刻に考えさせられる話し合いがなされました。そして改めて、幼児教育の重要さについて、この 今の時代にこそ「キリスト教保育」の必要さと大切さを痛感し、理事の方々からの 熱い励ましとお祈りに 大きな力と新たな 勇気と希望を 与えられた ひと時となりました。

『あなたの若い日に あなたの創造者を覚えよ。（旧約聖書 伝道者の書12:1）』この世に生きる 私たちは皆 それぞれに命を与えられ、生かされている被造物です。乳幼児期にこそ、人として在るべき姿というものを しっかりと教えていかなければなりません。神様から与えられた『心』を 大切に 豊かに育むことが何よりも大切なのです。制度が変わろうと、時代の流れがどうなろうと 大人たちが 子ども達に伝えるべきこと、育てるべきことは 変わってはならないはずです。

いつだったか、久しぶりに遊びに来た卒園生達が、憤慨するように言っていました。「ねえ！せんせっ！学校はね、ごはん食べる時に お祈りしないんだよ。どうして？」「大変なんだよ！神さまを信じていない人が いっぱいいるんだよ！」「この世界をつくったのが 神様だって知らないんだよ！どうして？」「お友達のことをウザイ！って言ったり、消えろ！って言ったりしちゃういけないのに、平気で言う人がいるの。人として 言っちゃダメなことだよ。おかしいよね！神さまは きっと悲しんでるよ」保育園の生活で、当たり前だったことが 学校に行き 次々と覆されることに戸惑い疑問を感じ、心を痛め、訴えにくる卒園生の子ども達は 少なくありません。きっとこんな風に 直接 言葉に出さないまま心に想いを抱えて過ごしている子どもも多くいるのだろうなと思いつつ、それでいい、その疑問や怒りこそが 大事なことだと見守っています。すべての卒園生ひとりひとりの心の中に この つのぶえ保育園で 生き合った時間を通して培った「人として 神さまに生かされ 愛されている喜び」「感謝や 謙遜」「自由」そして「祈る心」は、これから先 どんな時も それぞれの 堅固な礎となることを 確信しています。今月は 子ども達を祝福する花の日礼拝がありますが、世界中のすべての小さな命に神様の祝福をお祈り致します。（石田 記）

また、今号の最終ページに綴じてありますデザイン画は、子ども達の より楽しい 充実した園生活に、私自身が夢に描いておりました 園庭の大型遊具ですが、今回の理事会で ようやく承認されましたことを 感謝をこめて ご報告させていただきます。詳しい工事の予定等は 追って お知らせしますが 今年度中には完成する予定です。